

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		データ放送システム運営事業		課名	総務文書課	事業No.	42
				会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			南信州定住自立圏共生ビジョン			
法令・例規等							
事業目的		対象	データ放送システム				
		意図	適正な運用管理				

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
	・データ放送の安定稼働を維持するため、システム、関連設備及び機器の運用管理業務を行いました。 ・更新期を迎えた放送設備について、更新工事を実施しました。		機器保守・業務委託料				1,913			
			システム・機器設備使用料				3,502			
			設備更新工事費				29,040			
			その他の経費				0			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	記事掲載数	件/年	1,300	3,882	3,500	3,852	3,500	3,469	3,500	3,298
2年度 決算 (千円)	予算額		35,417		特定財源内訳及び補足事項					
	決算額		34,455		(そ) データ放送システム共同利用負担金					
	財源の 状況	国庫支出金	0							
		県支出金	0							
		地方債	0							
		その他	16,018							
一般財源	18,437									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	13	11	7	35,417	34,455	データ放送システム運営事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		データ放送について飯田市広報媒体の1つであるとの片内認識が高まっていないため、いかにすればより多く活用されるか引き続き検討していく必要があると考えます。							
上記の課題解決のための有効策		・情報発信を行う部署の職員を対象とした操作研修を兼ねた啓発機会を創出します。 ・スマートフォンの利用増加を受けアプリの有用性を周知していきます。							
次年度に向けての取り組み		・データ放送「結いチャンネル」の広報を行います ・データ放送連携スマートフォンアプリ「飯田市地域情報アプリ」の周知を図ります							